

日本 J/24 クラス協会 定時総会議事録

2017年11月24日(金)17時15分より、和歌山セーリングセンター 旧艇庫2階において、日本 J/24 協会クラス定時総会を開催した。

議決権のある正会員数 39名

出席した議決権のある正会員数

(委任状および議決権行使書による者を含む) 26名

出席理事 白濱 重敏 (WHITE SQUALL)

同 岩出 彰 (Chove Chuva)

同 室橋 紅里子 (LULL)

事務局 齋藤 智子 (だぼはぜ)

定刻にいたり、司会・齋藤智子が以上のおり、議決権のある正会員の過半数に相当する出席があり、本総会は規約に基づき成立したので開会する旨を宣言、次いで規約 21 条に基づき会長の白濱重敏が議長に就任した。

《決議事項》

第1号議案 2018年度収支予算案承認の件

議長は、2018年度収支予算案について説明。

【質問1】 予算案に前年度繰越金が含まれていないため、現在の協会の資金が不明瞭ではないか。

【回答1】 予算案に前年度繰越金、もしくは、定期預金等の現在の協会の資金が分かる内容を織り込む形で修正し、改めて協会 HP へ掲載する等して周知します。

質疑応答後、議長は 2018 年度予算案の承認を求めた。総会は異議なく当該収支予算案を承認可決した。

第2号議案 2016年度収支決算案承認の件

昨年度の事務局担当、室橋より収支決算案の説明がなされた。

【質問1】 次回、J/24 ワールドを再び日本で開催することになった場合、参考にできるよう、昨年の大会開催時の経費については全て記録に残して引き継いではどうか。特に JSAF スポーツ振興補助金については、収支の金額になぜ相違が出るのかが分かりづらいため、JSAF 担当者とのやり取りを含めた資料を残してほしい。

【回答 1】 今回の大会で発生した経費と、その収支経緯については全て引き継ぎ資料として作成・保管いたします。

説明後、議長は 2016 年度収支決算案の承認を求め、総会は満場異議なく当該収支決算案を承認可決した。

《報告事項》

①韓国への技術指導についての活動報告（畠山智己・月光）

11 月初め、韓国で 2 日間にわたり、技術指導 とレースを実施。帰国後、韓国 J/24 会長より、今後は日韓の両協会で協力してレースを行うなど、積極的に交流したいとの申し入れがあった。今後の両協会の活動について話し合うため、来年 4 月に韓国で開催予定の会長杯に本協会の理事や会長にも出席していただきたいとの希望あり。本件については理事会にて審議することとした。

②ワールドカウンシルミーティングの参加報告

10 月にイタリアでワールドカウンシルミーティングが開催された。会長・理事共に出席することができなかつたため、現・関東フリースタイルキャプテンの杉貴（だぼはぜ）が代理出席。各種報告とクラスルールの条文解釈の変更が話し合われた。変更事項は決定次第、順次協会ホームページの掲載にて報告予定。

なお、来年以降のワールド開催予定については、2018 年はイタリア・ガルダ湖、2019 年はアメリカ・マイアミ、2020 年はイギリス・プール予定。2021 年は未定。

以上をもって本総会における全議案の審議を終了したので、17 時 45 分に閉会宣言をした。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成し、議長が次に署名する。

2017 年 11 月 29 日

日本 J/24 クラス協会

白浜重敏